

# 企業紹介

世界で活躍する航空機業界を  
確かな技術と品質の高さで支える



株式会社サンエコー

代表取締役 國吉 昌良  
〒958-0822 村上市坪根字上坪根341-18 (村上工場)  
TEL 0254-53-6111 FAX 0254-53-6114  
<http://www.echogroup.co.jp>

業 種：輸送用機器製造業  
資 本 金：5,000万円  
事業内容：航空機用部品の加工組立、アルミ等  
部品の精密加工組立

村上市で航空機内のギャレー（厨房設備）やラバトリー（化粧室）の部品の加工・組立を行っている(株)サンエコー。卓越した技術力を駆使して良質な部品を製造し、航空機市場の拡大を背景に順調に業績を伸ばしている。

## 村上市から誘致を受けて工場進出

同社の設立は平成元年。もともとは、東京都立川市で新日エコー(株)として航空機内装部品部品の加工・組立を行っていたが、主力取引先の(株)ジャムコが村上市に進出((株)新潟ジャムコを設立)する際に、同社も村上市から誘致を受け、別会社の形で進出した。

設立当初は従業員60名程で操業を開始。湾岸戦争の影響で業績が低迷する時期もあったが、航空機市場の拡大とともに順調に業績を伸ばし、現在では従業員250名程の規模にまで成長している。



▲村上市工業団地内に事務所・工場を構える

## 独自の技術とノウハウで高品質の部品を製造

航空機の部品は、機体の安全性を確保するために機内のギャレーやラバトリーの部品に至るまで、強度や耐火性などの厳しい品質基準を満たす必要がある。さらに、ギャレーやラバトリーは機体が納品される国により風俗・習慣が異なることから、各国の文化に合わせた細かなカスタマイズが要求される。このため、部品の種類は非常に多岐に及び、その製造には高度な技術力ときめ細かな生産管理体制の整備が不可欠となる。

同社は、前身の会社を含めると航空機業界で36年のキャリアを有しており、板金、切削、溶接・組立の各工程で培った独自の技術とノウハウで高品質の部品を製造している。また、最先端の生産管理システムの下、少量多品種、短納期のオーダーにも的確に対応している。



▲3Dモデルを組み込んだ加工プログラミング



▲NCプレスブレーキによる板金加工



▲マシニングセンターによる切削加工



▲手作業による構成部品の組立

## 胎内市に新工場を建設

近年、航空機市場は新興諸国の経済成長やLCCの普及などを背景に拡大を続けており、同社は生産体制を増強するため、胎内市の新潟中条中核工業団地への工場進出を決めている。同団地には、既に同社の主力取引先である(株)ジャムコが資材の物流施設を建設しており、今年の11月に予定されている新工場の稼働後は、(株)ジャムコとの連携により一層の生産体制の拡充が期待される。

同社の國吉社長は、「当社は村上市に工場を建設してから25年が経過し、これまで従業員をはじめ地元の方々に支えられて成長してきました」「胎内市に進出しても、地元で生まれ、地元の方々が喜んで働けるような工場にしていきたい」と新工場への意気込みを語った。